

11月17日（土）、第1回拓大OBゴルフコンペ&懇親夕食会 in 上海を開催しました。現在中国には、学友会香港・マカオ支部（21名）、長城会（11名・北京）、長江会（46名・上海）の3つのOB会があり、勉強会や懇親会などの活動を通じてそれぞれで交流をしています。

今回の企画は、長江会の宴席で宇佐美凱義先輩（65期卒）が、「年に1回ぐらい、中国にいるOB皆が集まるといいな！」の一言からはじまり、中山正浩先輩（67期卒・長城会会長）と小西允先輩（64期卒・学友会香港マカオ会長）の賛同を得て、地理的中心にある長江会の安翊青さん（91期・長江会会長）がホスト役となり実現しました。

企画が具体化するにつれ、中国の地方都市で活躍するOBへの連絡はどうする、タイミング良く日本からの出張者がいるかも知れない、などと話しがふくらみ、学友会のHPに案内を掲載させて頂きました。すると直ぐに、日程が合えば行くという日本からも問い合わせを受け、あらためて中国関連に従事するOBの多さ、中国が日本の身近に存在するのを感じました。

第1部のゴルフコンペは、駐在者の宿命である突然の出張や来客対応などにより、参加者は直前で減り、4組14人での競技となりました。競技は、上海市の南、市中心部から約40分に位置する上海新天鴻名人ゴルフクラブで行われ、途中から降り出した雨風をものともせず、ハイレベル&ハイスコアのラウンドとなりました。栄えある優勝は、小倉雅昭先輩（67期卒・香港マカオ支部）でした。



「コンペ前の記念撮影」



「優勝した小倉先輩」

第2部の懇親夕食会は、外灘の夜景が見られる中華レストラン、愛晩亭（正大広場8階）で行いました。夕食会には、新たに日本や香港などの遠方から駆けつけたOB達も加わり、23人が集まりました。順番でスピーチすると、自己紹介で人事担当だという先輩に対して、留学生在が就職の面談を申し出るハプニングが飛び出すなど、和気あいあいムードで楽しい時間がアツという間に過ぎました。



「懇親会の集合写真」



「窓から見える外灘の夜景」

今回の会の特筆すべき点は参加者の年代。卒業期で見れば約半世紀、親と子以上違う。さらには中国人OBも半数に近い9人が参加。校歌にあるとおり人種の色と地の境、我が立つ前に差別なし。自由参加でかつ遠距離、しかも海外という条件でも集まった仲間。卒業後の社会人という枠組みの中で、誰に何を強制されるでもなく、後輩は先輩を敬い、先輩は後輩をさりげなく気遣い、校旗のもと集まった皆が愉快地過ごせたのではないかと思います。

また、ゴルフや懇親会では、広東語、上海語、北京語、日本語、英語が飛び交い、中国の懐の広さと、その広大な地域に溶け込みながら活躍しているOB諸兄のたくましさの中に、【拓大魂】が脈々として流れて伝えられていることを再認識しました。

代表幹事（吉川孝家91期）

卒業期別参加者数

卒業期	参加人数	中国人OB
60期代	4	—
70期代	2	—
80期代	3	—
90期代	9	5
100期代	5	4
合計	23	9

*100期には留学生1人含む

*中国人OBは内数

地域別参加者数

地域	人数
上海	13
北京	5
香港マカオ	3
日本	2
合計	23

*日本は留学生1人含む